

令和6年度(2024年度) 第2回 同和問題解決推進協議会

次 第

日時：令和6年(2024年)10月11日(金)

19時～20時10分

会場：人権平和センター豊中 大集会室

【案件】

1. 同和問題啓発動画の作成について

【資料】

(資料1) 同和問題啓発動画「部落差別の正論〇選(仮)」(案)

(参考1) 3・4年生 社会科副読本「ゆたかなゆめあるまち豊中」

同和問題啓発動画「部落の正論〇選（仮）」（案）

偏見・誤解に対する正論を述べるショート動画（YouTube を想定、1 動画あたり 20 秒～60 秒程度）を作成します。

NO	偏見・誤解	正論に必要な視点
1	部落差別って 昔の問題でしょ？	
2	部落差別なんて 今どき？ 見かけたこともないよ	
3	私の周りに 部落の人はいないよ？	
4	部落に住み続けているから 差別されるんじゃないの？	
5	部落の人って 怖いんでしょ？	
6	インターネットに 「部落は治安が悪い」 って たくさん書いてあるよ 本当？	
7	部落の人って 優遇されてるんでしょ？	
8	同和地区への優遇は 地区外への逆差別でしょ？	

NO	偏見・誤解	正論に必要な視点
9	部落差別なんて ふれずに そっとしておく方がいいんじゃないの？	
10	部落って閉鎖的なんでしょ？	
11	部落の人は 好きな人と結婚できないんじゃないの？	
12	反対されても 結婚してる人もいるんじゃないの？ じゃあ 問題ないんじゃないの？	
13	部落がどこか 何で聞いてはいけないの？	
14	「差別」と騒ぎすぎなんじゃないの？	
15	部落の当事者でもなく 差別意識もない私は 関係ないし 気にしなくていいよね？	
16	差別される方にも 何か理由があるんじゃないの？	

見つける



学び方ナビ

人権平和センター

地いきの人びとの願いから豊中市が整びを進めてきた公きょうしせつ。

人権平和センターは、地いきの人びとのどのような願いから、できたのか考えてみよう。



豊中市の公きょうしせつについて、P.64で学習しましたね。また、人権平和センター豊中と人権平和センター豊池がどこにあるのか巻末の地図で調べてみよう。

いろいろな人びとがともに支え合えるような社会にするためにどんなことができるかな。



キーワード

人権

人間が人間として当然もっている基本的なけんりのこと。

人権平和センターにこめられた人びとの願いを考えてみよう



人権平和センター豊中



人権平和センター豊池

人権平和センターは、一人ひとりが大切にされ、だれもが安全で安心してくらせるような、人にやさしいまちづくりをめざしてつくられました。また、そこには多くの人の願いや知えがこめられています。

豊中市には、人権平和センター豊中と人権平和センター豊池という2つのしせつがあります。

人にやさしいまちとは、どんなまちでしょうか。思ったこと、考えたりしたことなど、文章や絵などでイメージしたことを書いてみよう。



いろいろな人がいるけれども、いっしょにききあって生きていけるような社会になればいいなあ。

すべての人が安全で安心してくらすことのできるような社会やまちになればいいなあ。



人権平和センター豊中ではどのようなことをしているのだろう

人権平和センター豊中は、1階がこども園、2階が人権平和センターになっています。3階には、とよなか都市創造研究所としそうぞうけんきょうしよもあります。すべての人にとってやさしく、住みやすいまちづくりを進めていくために、2020年(令和2年)に人権平和センター豊中として、今のようになりしました。戦争や平和について考えてもらうための展示やし料のかし出し、子どもからお年よりまでさまざまな世代にとってのい場所づくりや人が集まるための場所のていきょうを主な仕事としています。



展示室

また、人権平和センターの中で仕事をしているとよなか人権文化まちづくり協会は、豊中市から任されて、次のようなことに取り組んでいます。

【とよなか人権文化まちづくり協会の取り組み】

- ①困ったことなどを、相談するためのまど口やお年よりをはじめ、地いきの人のい場所づくり。
- ②市民に対して人権について、理解を深めてもらうこう座やパネルてんなどを行う。
- ③子どもたちが安心できる学習の場をはじめとするい場所をつくる。

調べる・考える

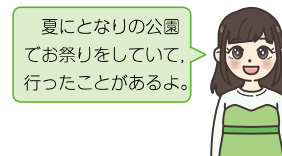
学び方ナビ

人権平和センター豊中の取り組み

人権平和センター豊中は、どのようなことをしているのか、調べてみよう。



学校が終わった後に、勉強をしに行っていたことがあるなあ。



夏にとりなる公園でお祭りをしていて、行ったことがあるよ。



1955年(昭和30年) 児童館だったころ

とよなか都市創造研究所とは



人権平和センター豊中
(豊中市ホームページ)

豊中市をより発てんさせるための調査や研究をしています。また、市民に対して調査や研究したことをホームページなどに公表したり、情報を発信したりしています。



深める

学び方ナビ

人権平和センター豊中の人の話

人権平和センター豊中の方から話を聞いて、どんな地いきの人にとって、どんな役わりをしているのか、考えてみよう。

とよなか人権文化まちづくり協会の人の話をきいて、これまで学習したと合わせて、学んだことをまとめよう。



人権平和センター豊中には、多くの地いきの人の願いがこめられているんだね。



コラム

参考に調べてみよう。



一般財団法人とよなか人権文化まちづくり協会ホームページ

▶ とよなか人権文化まちづくり協会の人の話をきいて ◀

人権平和センター豊中で働いているとよなか人権文化まちづくり協会の方の話を聞きました。話を聞いたことをまとめましょう。



とよなか人権文化まちづくり協会の酒井さんと重本さんの話

人権平和センターは、前は人権まちづくりセンターという名前でした。その前は豊中解放会館という名前でした。さらに前は、市立児童館とよばれていました。

なぜ、人権平和センターができたかという、当時、その地いきでの仲間外れなどがたえず起こり、問題になりました。

1950年頃から、地いきのおとなたちが力を合わせて、みんなでこの地いきの子どもを守ろうということを話していました。子どもが安心して遊べ、勉強ができる場所をつくるために、豊中市と何度も話し合いをして、1955年に小さな小さな児童館ができました。

だれかが安心してらせるまちや社会、世界をつくるための願いがこめられています。それは、センターの名前が変わってきた今も昔の人の思いや願いとかわりません。

いじめを受けている人やしょうがいのある人、外国人の方、生まれたところや住んでいるところ、育ったところなどいろいろなことで、仲間外れにされている人が今もいます。「一人ひとりが、自分にされていやなことを人にしない、自分が言われていやなことを人に言わない、みんなが自分のことも大切にできる人になってほしい」と思います。



これまで調べたことやとよなか人権文化まちづくり協会の人の話から、人権平和センター豊中には、どのような願いがこめられ、どのようなことに取り組んでいるのかをまとめよう。

ていし

せんそう

▶ 平和展示室にあるものから戦争や平和について考えてみよう ◀

平和展示室には、豊中にも戦争のれき史があったことを伝えるコーナーがあります。1945年(昭和20年)の6月と7月に、六回におよぶ空しゅうがありました。大阪府内でも、三番目に大きなひ害を受けました。

平和展示室にある展示物は、その当時の空しゅうの大きさや戦争のおそろしさについて、考えさせられたりするものばかりです。また、広島や長崎に落とされた原子ばくだんや、かくへいきのおそろしさについて伝える展示もあります。戦争や平和について、実際に人権平和センターに見学に行ったり、調べたりして考えてみましょう。



豊中での戦争中のくらしやその様子について調べたことで、感じたり考えたりしたことを書きましょう。



調べる・考える

豊中での戦争中のことについて調べてみましょう。P.57にものっているの、さん考にしておね。



深める

人権平和シアター



豊中での戦争中の様子について、戦争を体験された方から聞き取りをして、感じたり、思ったりしたことをクラスで話し合ってみよう。

